



# かがやき

るるるる  
るるるる  
るるるる  
るるるる

時津町立鳴鼓小学校  
学校だより 第11号

令和4年11月8日  
文責：校長 今井大輔

## 充実の秋パート3

2学期も後半となりました。引き続き秋ならではの行事が盛りだくさんです。子供たちは、芋ほり体験やどんぐりを使った遊びの学習など、身体全体で季節を感じています。

## 秋の味覚大収穫祭

10月27日(木)の午後から2年生が芋ほりをしました。

6月に植えた苗がしっかりと育ち、大きく育った芋を収穫することができました。子供たちは、黙々と真剣に土を掘り、大きな芋がとれた時には、笑顔で大喜びでした。これも地域の方(左底シニア会)が、芋苗の間の雑草を取ったり、畑周りの草を刈ったりするなど、よくお世話をしてくださったおかげです。



## どんぐり教室



1年生の生活科「見つけたあきで あそんでみよう」の学習で、講師(県民の森森林館、えことびい長崎などから9名)を招いて「どんぐり教室」が行われました。子供たちは、どんぐりゴマやどんぐり笛作りに夢中でした。

また、どんぐりの種類を学び、「どんぐり検定」を受け、合格した子供は、「どんぐり博士認定証」をもらって大喜び。珍しいどんぐりを知ったり、触れたりすることができ、十分に秋を味わうことができたようです。

きょう、二じかんめと三じかんめに、たいいくかんで、どんぐりきょうしつがありました。  
ぼくが、「このもんだい、すごくむずかしいね。」といいました。  
いろいろなどんぐりがあつて、とてもおもしろかったです。  
もっともつとすこいどんぐりはかせになりたいです。

1年 山崎 寿弥さんの作文

## 読書感想文発表会

10月28日(土)にとぎつカナリーホールで読書感想文発表会がありました。鳴鼓小からは、2年生の近戸心晴さん、6年生の吉川啓恭さんが出場しました。二人とも発表原稿を覚え、落ち着いてしっかりと発表できました。あのよう大きなホールで、しかも大勢の前で堂々と発表できるのは大したものです。なかなか経験できることではないので、緊張はしたのではないかと思います。

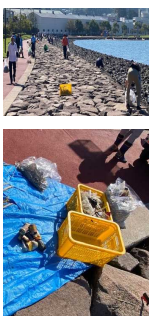
また、小学生の発表の後に行われる中学生によるビブリオバトル大会も大変盛り上がりしました。毎年参観させてもらっていますが、毎回のようによろこばせてもらっています。これまで参観したことのない方は、ぜひ、参観してみてください。お薦めです。



## つばやき

10月15日(土)にウォータフロント公園近くの時津港沿岸のごみ拾いに参加した。NPO法人コミュニティ時津が主催するボランティア活動であるが、多くの大人に混ざって小学生も数名参加していた。

私は、初めて参加したが、新たな発見や驚きがあった。参加する前は、「打ち上げられたペットボトルや空き缶、プラスチック類くらいかな」と安易に考えていた。しかし、現実はかなりシビアのものであった。パッと見渡しただけでは、ごみは落ちていないように見えない。「あれ?ごみはなくてきれいでは?」と思い、石組みの所へ近づいてみる。石組みの間を覗き込みよく見てみると、宝の山、いや、ごみの山が。手を突っ込んでみると次から次にいろいろのごみが出てきた。一番多かったのは、お菓子の小袋。次にペットボトルや缶類。そして、粉々になった発泡スチロールである。



外海であるなら海外からのごみも考えられるだろうが、大村湾は、湾に面した市町の住人が捨てた物がほとんどだろう。これらのごみを海に住んでいる生物が口にしたら大変なことになるのは間違いない。あの場で活動をしていただ大人はもろんのことだが、子供も同じことを考えただろうと思った。機会があれば、ぜひ、鳴鼓っ子たちにも教えてあげたいと考えながら公園を後にした。